

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

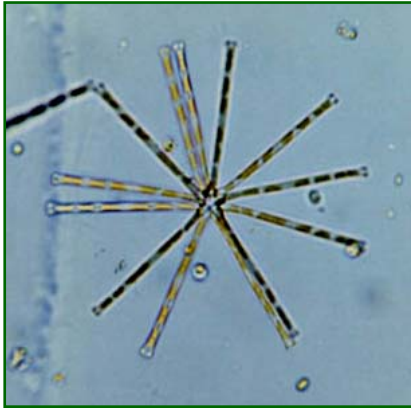
～第52報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当

平成26年3月24日

## 1. 最も数が多かった種類(優占種)

### 植物プランクトン第1優占種



*Asterionella formosa*  
(ホシガタケイソウ)  
珪藻綱

4～32個の細胞が端で接着し、星形の群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

### 動物プランクトン第1優占種



*Codonella cratera*  
(スナカラムシ)  
繊毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。殻の中に無色透明の繊毛虫が入っている。

#### コメント

植物プランクトンでは、珪藻に属するホシガタケイソウ (*Asterionella formosa*) が優占種となった。体積で見ると黄色鞭毛藻に属するホソヒダサヤツナギ (*Dinobryon bavaricum*) が引き続き優占種となった。綱別の体積では、珪藻類が総体積の約46%、黄色鞭毛藻類が約27%、褐色鞭毛藻類が約22%を占めた。動物プランクトンでは、繊毛虫のなかまのスナカラムシ (*Codonella cratera*) が1,800個体/Lで、4か月連続して優占種となった。ピコ植物プランクトンは、輝橙色のものが4,200細胞/ml、深赤色のものが210細胞/ml計数され、合計4,400細胞/mlとなった。

## 2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

### (1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/1)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	1,800

第 2 優 占 種		個体数 (個体/1)
繊毛虫類	<i>Tintinnidium fluviatile</i>	700

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

# 瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター  
生物圏担当

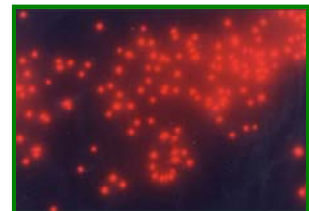
## (2) 植物プランクトン

平成26年3月24日

第52報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	数 体積	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon cylindricum</i>	32		
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	400		◎
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	80		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	40		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	6		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	120		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	140		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	120		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	440	◎	○
(珪) <i>Synedra acus</i>	40		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	40		
(渦) <i>Peridinium</i> sp.	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	420	○	
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Elakatothrix gelatinosa</i>	60		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	572	26.8	65.0
(珪) 珪藻綱	986	46.1	20.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	0.9	4.6
(褐) 褐色鞭毛藻綱	480	22.5	8.4
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	80	3.7	1.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	2138	総体積	2.06E+06
種 類 数	19	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン  
1,000倍G励起で撮影

## (3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	3月24日 細胞数/ml
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	4,400

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが $0.2\sim 2\mu\text{m}$ ( $1\mu\text{ml}$ は $1\text{mm}$ の1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。